

## 山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	高齢者におけるENBDの忍容性に関する検討－自己抜去の観点から－
該当者	2020/1/1～2021/12/31にかけて当院で経鼻胆管ドレナージ(ENBD)の治療を受けられた方
当院の研究責任者	消化器内科 赤松学
研究代表者	消化器内科 赤松学
本研究の目的	ENBDは確実な胆道のドレナージが可能という優れた利点を有するが、違和感の問題があり自己抜去のリスクが伴う。特に高齢者においては自己抜去の頻度が高いことが予想されるが、それを検証する目的で研究を行う。
実施予定期間	2021年1月1日～2023年12月31日
研究の方法	これまでに当院でENBDの治療を受けられた方の電子カルテに記載のある診療情報をもとに検討を行います
研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテから得られる臨床情報
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を第110回 日本消化器病学会総会で公表する予定です。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	消化器内科 赤松学 023-685-2626